

ブルノ自転車展示会 (BIKE Brno)

この展示会は「自転車」と「スポーツ・健康用品」の展示会である「SPORT Life」と、レジャーボートの展示会「boat Brno」、キャンピングカーの展示会「Caravaning Brno」の3つ展示会の合同開催形式で、チェコ第2の商業都市ブルノで行われている。

更に「SPORT Life」はフィットネスや健康グッズ、ゴルフなどのスポーツ用品を扱う展示会「SPORT Life」と、自転車展「BIKE Brno」(SPORT Life-cycling)に分かれており、ブルノ見本市会場全体を利用したレジャー用品の総合的な展示会である。

【BIKE Brno】

主催： BVV Trade Fairs Brno

会場： Brno-Exhibition Center

会期： 2007年11月8日(木)～11日(日)

開催時間： 9:00～18:00 (11日は16:00閉会)

展示面積： 「BIKE Brno」9,000㎡ (全催事計20,000㎡)

使用ホール： 「BIKE Brno」A2, V, G2 計3ホール

「SPORT Life」B, D、「boat Brno」Z、「Caravaning Brno」F, G1

入場者数： 40,000人 (全催事計)

出展者数： 「BIKE Brno」28カ国161社340ブランド (昨年23カ国164社)

「SPORT Life」137社、「boat Brno」60社、「Caravaning Brno」27社



会場入口 (3 展示会名併記)



自転車展ホール A2

展示会概要

各展示会のうち自転車展示会「BIKE Brno」は今年で6回目の開催であり、利用ホール数は計3ホールで昨年より1ホール増加し、展示面積も前年比15%増となった。また、全展示面積のうち自転車展は最大の45%を占め、あくまでも「自転車」をメインにしたスポーツ用品展である。

自転車関連の出展者は、米国ブランドではキャノンデール、トレック、ゲイリーフィッシュ

ヤー、マングース、シュイン、GT、MARIN やカナダのロッキーマウンテンなど。特にスペシャライズドは高級スポーツ車、トレッキング・シティ車と子供車の小間を別々に設け、出展社中最大のブースを構える力の入れようであった。欧州ブランドではピナレロ、チネリ、ビアンキのロードレーサーや、スコット、bmc、KTM、FELT、FOCUS などのスポーツ車のほか、ハーキュレス、パンサーは、トレッキング・シティ車中心に展示していた。更にジャイアント、メリダ、折りたたみ車のダホンも見られた。部品関連では、シマノ、カンパニョーロを始め、スラム・ロックショックス、マビック、ポントレガー、SRサンツアー、マニトウ、ZIPP などが揃い、アクセサリ類では工具類のパークツール、ウエア類のダイナーゼ、パールイズミなどが出展していた。東欧市場のユーザー向けにどのようなブランドが出展されるのか懸念もされたが、このような充実したブランド数と詰めかけた多くのユーザーの姿を見る限り、西欧諸国で開催されるユーザー向け自転車展と遜色ない内容であった。



スペシャライズド



トレック



シマノ



パールイズミ

また、小間展示のほか室内ではバイシクルトライアルやBMXのコーナーが設けられ多くの観客を集めていた。今回、来場者に向けた参観型イベントは、期間中約200もの数に及んだ。自転車関連では、メッセ会場を利用したクロスカントリーのレースやBMXレース、クラシックタイプの自転車に当時の服装で乗るサイクリング大会などが見られた。当日は生憎の雨で

あり各イベントの観客数は少なかったが、集客に向けた主催者の努力の跡が伺えた。

地元スポーツ車メーカー

世界的に有名な欧米ブランドが来場者の人気を集めた一方で、地元チェコのメーカーやブランドでも既に MTB で有名な「AUTHOR」を始めとして、「4ever」、「SUPERIOR」、「amulet」、「PELL' S Bicycles」といった地元ブランドは、9,000 コルナ（54,000 円：1 コルナ 6 円換算）程度の MTB から、90,000 コルナ（540,000 円）以上もするアルミやカーボンのロードレーサーや MTB をトップモデルに据え、BMX やトレッキング車まで幅広くスポーツ車を展開しているところもあった。「4ever」では重量 8.95kg という軽量の最上位グレード MTB が来場者の注目を集めていた。その MTB のデザインや装着パーツを見ても、決して西欧ブランドに引けを取っていないと思えるほど品質は高い。「SUPERIOR」や「PELL' S」は競技チームへ



PELL' S Bicycles



4ever（軽量 MTB）



SUPERIOR



Kellys bicycles

の自転車供給をアピールすることにより、自社のブランドイメージを高める方法をとっていた。また EUROBIKE などでもお馴染みの隣国スロバキアのスポーツ自転車メーカー「Kellys bicycles」も大きなブースを持ち、ロードレーサー、MTB など数多くのスポーツ車を展示していた。

今後の展望

今回の来場者のうち、海外からは全体の 5.5%のわずか 2,200 名であったが、その内訳は世界 22 カ国にも及び、隣国スロバキアを始めとしてポーランド、ハンガリー、オーストリアやイタリアなどが主ではあるが、はるばるアメリカ、オーストラリアや中国からも駆けつけていた。また世界 28 カ国 247 名の取材者が訪れ、上記の国々の他、ベルギー、クロアチア、オランダ、ギリシア及びドイツからも取材者が詰めかけた。

従来、東欧諸国は西欧自転車市場の生産拠点として関心を集めてきたが、これからは東欧市場のユーザーへの需要を見込み、同地域有数の自転車展である本展は欧州並びに世界から今後も注目を集める可能性も秘めている。

来年はブルノ見本市会場にて 2008 年 11 月 6～8 日の開催予定である。



ホール V の様子



バイクトライアル（ホール A2）

以 上

（デュッセルドルフ事務所）